



やさしい能楽 1から始めるお仕舞体験講座

第11回『能楽体験ワークショップ』を開催しました！



平成27年7月16日(木)～8月30日(日)

ミュージズでは日本の伝統芸能を広く知ってもらおうと、2005年から能楽体験ワークショップを開講しています。この講座は、短期間で能の見せ場となる“お仕舞”を覚え、最終日に発表を行う人気講座です。今年も小学生～80代の方まで48名の生徒さんが集まりました。

一般の部は、グループに分かれ「養老」^{ようろう}「鶴亀」^{つるかめ}「玄象」^{げんじょう}をお稽古しました。講師の観世流能楽師・遠藤喜久先生の動きに合わせて、基本動作からお稽古がスタート。綺麗に舞うことを目標に基礎練習を毎回行いました。最初は見ている以上に難しい動きに四苦八苦しながらも、回を重ねるうちにバランスの取れた綺麗な動きになりました。お稽古の途中では、実際に舞台上で使用する能装束（衣装）や能面を間近に見て、能への理解が深まる講座となりました。

そして、8月30日(日)には『触れてみよう！能楽の世界』の第1部に出演し、稽古の成果を発表しました。緊張しながらも、堂々とお稽古の成果を発揮できたのではないのでしょうか。発表の後は皆さん晴れやかな顔をされていました。第2部では「能のお話」やお囃子楽器の解説、能「橋弁慶」^{はしべんけい}を鑑賞。ワークショップ卒業生の中学1年生が牛若丸役を務め、皆さん真剣に見入っていました。



摺り足



装束の着付



能面の解説

小中学生の部では「羽衣」^{はごろも}をお稽古しました。今年から2回のお稽古でも参加可能となりました。子供たちは先生の動きをどんどん吸収していきます。課題曲はほぼ初日で完成！子供たちの感性の鋭さに驚かされました。



<生徒発表>小中学生の部



<生徒発表>一般の部



お囃子楽器の解説



能「橋弁慶」



能「橋弁慶」



集合写真

短い期間でしたが、生徒の皆さんにとっては大変充実した体験講座となりました。

また来年度も「能楽体験ワークショップ」を行う予定です。

能や仕舞に興味のある方、是非ご参加ください！



「羽衣」の稽古



構えの練習



能面のスケッチ

